



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 協栄産業株式会社

コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 水谷 廣司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 市河 明 TEL 03-3481-2111

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	13,650	4.6	△291	ー	△303	ー	△364	ー
26年3月期第1四半期	13,045	△10.9	△387	ー	△371	ー	△412	ー

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △243百万円 (ー%) 26年3月期第1四半期 △120百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△11.94	ー
26年3月期第1四半期	△13.52	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	34,262	13,641	39.8
26年3月期	35,088	13,552	38.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 13,641百万円 26年3月期 13,552百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	ー	2.00	ー	2.00	4.00
27年3月期	ー	2.00	ー	2.00	4.00
27年3月期(予想)	ー	2.00	ー	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	5.0	250	401.2	190	319.2	100	ー	3.28
通期	62,000	6.3	730	67.1	610	62.3	420	ー	13.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	31,935,458株	26年3月期	31,935,458株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	1,430,870株	26年3月期	1,430,173株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	30,505,052株	26年3月期1Q	30,511,321株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税増税による一時的な減速はあったものの、金融・財政政策の効果から緩やかな回復の動きが見られました。また、世界経済では米国経済の緩やかな回復及び欧州における景気の底入れ等、明るい要素が出てきました。しかしながら、中国・アジア新興国の景気低迷が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社（以下当社グループ）が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図るとともに、諸経費の削減など収益改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は136億5千万円、前年同期に比べて4.6%の増収、営業損失は2億9千1百万円（前年同期営業損失3億8千7百万円）、経常損失は3億3百万円（前年同期経常損失3億7千1百万円）、四半期純損失は3億6千4百万円（前年同期四半期純損失4億1千2百万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

## (商事部門)

- ・売上高 110億4千5百万円（前年同期比3.0%増）
- ・営業利益 4千9百万円（前年同期比25.2%減）

商事部門においては、売上は回復傾向にあり、堅調に推移いたしましたが、利益面ではやや低調となりました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

## &lt;半導体デバイス事業&gt;

半導体分野では、自動車関連が海外向けで低調に推移いたしましたが、白物家電関連に関しては消費税増税の影響も少なく、堅調に推移いたしました。また、産業機関連向けも復調したため、全体としては堅調に推移いたしました。

電子デバイス分野では、スマートフォン関連が低調に推移いたしましたが、産業機関連が堅調に推移し、全体としては堅調に推移いたしました。

## &lt;電子材料事業&gt;

コネクタ分野では、自動車関連が比較的堅調に推移いたしましたが、スマートフォン関連やデジタルAV機器用は低調に推移いたしました。

半導体リードフレーム分野も、全体に調整傾向で、低調に推移いたしました。

## &lt;FA・環境システム事業&gt;

産業メカトロニクス分野では、加工機関連及びNC装置は堅調に推移いたしました。

FA機器分野では、エレクトロニクス関連の装置メーカーからの受注が伸び悩み低調に推移いたしました。

環境ビジネス分野では、太陽光発電案件及び発電設備の遠隔監視装置の商談が活性化し、受注は堅調に推移いたしました。

## (IT部門)

- ・売上高 9億6千7百万円（前年同期比17.6%増）
- ・営業利益 1千2百万円（前年同期営業損失1億4千8百万円）

IT部門においては、前年同期と比較すると回復傾向で推移いたしました。

なお、IT部門では、9月及び3月に売上及び利益の計上が集中する傾向にあります。これは従来からの業界傾向であります。

事業別の詳細は以下のとおりです。

## &lt;ビジネスソリューション事業&gt;

建設関連システムは、パッケージ販売が堅調に推移いたしました。

エンドユーザー向けシステム開発は、主要ユーザーからの受注が堅調に推移いたしました。

受託ソフト開発は、電力関連向けを中心に堅調となりました。

## &lt;エンベデッドシステム事業&gt;

エンベデッドシステム系は、専用装置システム開発、専用ボードシステムは堅調となりましたが、カーナビ関連は苦戦いたしました。

## &lt;IC設計事業&gt;

IC設計事業は、厳しさは続いておりますが、引き続き回復傾向となりました。

## (製造部門)

- ・売上高 16億4千6百万円 (前年同期比9.8%増)
- ・営業利益 9百万円 (前年同期比82.5%減)

製造部門においては、売上は堅調に推移いたしましたが、利益面ではやや苦戦いたしました。

## &lt;プリント配線板事業&gt;

アミューズメント向けは、高付加価値ビルド基板は堅調に推移いたしましたが、一般基板では調整が長引き低調に推移いたしました。精密機器及びOA機器向けモジュール基板は、堅調に推移いたしました。車載向け基板は、消費税増税の影響も少なく、堅調に推移いたしました。

海外で行っているフレキシブル基板ビジネスは堅調に推移いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて8億2千5百万円減少し、342億6千2百万円となりました。

- ・流動資産は、現金及び預金7億5千6百万円の減少、受取手形及び売掛金7億8千万円の減少等により、13億1千9百万円減少し、271億8千5百万円となりました。
- ・固定資産は、投資有価証券2億5千1百万円の増加、退職給付に係る資産1億4千2百万円の増加等により、4億9千4百万円増加し、70億7千7百万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金3億3千7百万円の減少、賞与引当金1億7千万円の減少等により、4億7千1百万円減少し、146億1千1百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金3億5千5百万円の減少等により、4億4千4百万円減少し、60億9百万円となりました。

この結果、純資産は、8千9百万円増加し、136億4千1百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の38.6%から1.2ポイント増加し、39.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、現時点では平成26年5月13日に公表いたしました数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務年数に近似した年数の単一の利回りを使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均利回りを使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が406,068千円減少し、利益剰余金が394,292千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,332千円減少しております

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,222,477	5,465,607
受取手形及び売掛金	14,529,012	13,748,673
電子記録債権	689,003	539,342
商品及び製品	5,686,363	5,959,839
仕掛品	673,274	861,262
原材料及び貯蔵品	136,955	149,339
繰延税金資産	189,051	157,198
その他	380,455	305,496
貸倒引当金	△1,646	△1,626
流動資産合計	28,504,946	27,185,131
固定資産		
有形固定資産	2,789,656	2,866,041
無形固定資産	288,090	310,926
投資その他の資産		
投資有価証券	2,770,063	3,021,431
退職給付に係る資産	—	142,441
繰延税金資産	14,841	18,622
その他	806,503	804,283
貸倒引当金	△85,725	△86,227
投資その他の資産合計	3,505,683	3,900,551
固定資産合計	6,583,429	7,077,520
資産合計	35,088,375	34,262,652
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,076,145	9,738,476
短期借入金	2,203,356	2,169,002
1年内返済予定の長期借入金	1,420,000	1,420,000
未払法人税等	93,603	14,453
賞与引当金	295,518	124,656
その他	994,365	1,145,032
流動負債合計	15,082,989	14,611,621
固定負債		
長期借入金	4,750,000	4,395,000
繰延税金負債	471,705	583,610
退職給付に係る負債	324,971	30,146
役員退職慰労引当金	217,875	256,050
その他	688,761	744,371
固定負債合計	6,453,312	6,009,178
負債合計	21,536,301	20,620,799

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,235	3,120,235
利益剰余金	6,756,074	6,725,025
自己株式	△417,850	△417,983
株主資本合計	12,620,279	12,589,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	839,860	1,000,786
為替換算調整勘定	13,733	△25,950
退職給付に係る調整累計額	78,200	77,919
その他の包括利益累計額合計	931,794	1,052,755
純資産合計	13,552,074	13,641,852
負債純資産合計	35,088,375	34,262,652

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	13,045,238	13,650,818
売上原価	11,773,613	12,260,841
売上総利益	1,271,625	1,389,977
販売費及び一般管理費	1,659,564	1,681,192
営業損失(△)	△387,939	△291,215
営業外収益		
受取利息	359	419
受取配当金	22,071	28,352
為替差益	22,600	—
その他	22,094	12,478
営業外収益合計	67,125	41,251
営業外費用		
支払利息	34,096	33,486
為替差損	—	1,748
債権売却損	5,587	6,222
その他	10,898	12,232
営業外費用合計	50,582	53,689
経常損失(△)	△371,396	△303,653
特別利益		
投資有価証券清算益	6,978	—
特別利益合計	6,978	—
特別損失		
固定資産除却損	1,497	10,398
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—	502
特別損失合計	1,497	10,900
税金等調整前四半期純損失(△)	△365,915	△314,554
法人税、住民税及び事業税	26,044	10,696
法人税等調整額	20,624	39,079
法人税等合計	46,669	49,776
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△412,585	△364,330
四半期純損失(△)	△412,585	△364,330



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△412,585	△364,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195,397	160,925
為替換算調整勘定	96,889	△39,683
退職給付に係る調整額	—	△281
その他の包括利益合計	292,286	120,960
四半期包括利益	△120,298	△243,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△120,298	△243,370

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	10,726,435	818,499	1,500,304	13,045,238
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	411	3,699	—	4,111
計	10,726,846	822,198	1,500,304	13,049,349
セグメント利益又は損失(△)	65,699	△148,884	52,305	△30,879

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△30,879
全社費用(注)	△357,060
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△387,939

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	11,043,673	961,927	1,645,217	13,650,818
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,420	5,293	1,682	8,397
計	11,045,093	967,221	1,646,900	13,659,215
セグメント利益	49,175	12,091	9,168	70,435

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	70,435
全社費用(注)	△361,650
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△291,215

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。